



ミニトマト編

病害虫注意報 2020年2月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

うどんこ病特集



病原菌（糸状菌）

Leveillula taurica（内生型）

Oidium sp.（表生型）

Pseudoidium neolycopersici（表生型）

発病条件：

気温20～25℃

低湿度でかびが飛散し、高湿度で植物へ感染する。

注意点：

内生型は目に見える多発時には蔓延している。

→予防防除を徹底する。

特徴

宿主特異性がある。

例：トマトうどんこ病菌はイチゴに感染しない。

被害

光合成が妨げられ、樹勢の低下を招く。

被害が甚大になると、枯死に至る場合もある。

今月のおすすめローテーション

時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用時期	回数	影響日数 マルハバチ
2月 ①	うどんこ病	パンチョTF顆粒水和剤	2,000倍	前日	2回	0日
	うどんこ病・ハダニ類 コナジラミ類・アブラムシ類	フーモン	1,000倍	前日	-	1日
2月 ②	灰色かび病・葉かび病・菌核病・斑点病・すすかび病	ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～3,000倍	前日	3回	0日
	コナジラミ類・アブラムシ類	チェス顆粒水和剤	5,000倍	前日	3回	0日
2月 ③	葉かび病・灰色かび病	ベルコート水和剤	6,000倍	前日	2回	0日
	アブラムシ類・コナジラミ類 アザミウマ類	モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	前日	3回	1～3日
2月 ④	うどんこ病	プロパティフロアブル	3,000倍	前日	2回	0日
	コナジラミ類・ミカンイロアザミウマ オオハコガ・トマトヒゲタニ ハダニ類・ハスモンヨトウ	アニキ乳剤	2,000倍 (コナジラミ類・ミカンイロアザミウマ 1,000～2,000倍)	前日	3回	1日

厳寒期対策おすすめ資材

光合成能力UP! 植物本来の力を活性化!

ファイトオーツ- & ファイトマジック

1,000倍 葉面散布

1,000倍 葉面散布

植物本来の力を活性化☆

▶ 転流量増加（糖度アップ）

▶ 毛細根の充実

▶ 抵抗性誘導物質の向上

キレートマグネシウム

+ 各種微量元素

★ 葉にテリ・ツヤ・厚みUP!

★ 日照不良時の代謝の向上!

⚠ アルカリ性農薬、石灰硫黄合剤、アゾキシストロビン剤(アミスター)、クレンキシムメチル剤(ストロビー)、無機銅剤、ホルモン剤、液肥類との混用はさけてください



おすすめ資材

増える日差しに負けない根張りに!!

NEW-SB酸素

☆ 土壤に酸素を供給し、根の活動を活発に!

☆ 肥料・葉面散布剤の

吸収を良くします!

5～10kg/10 a

7～10日おき灌水処理

